

セルフエスティームを育む健康教育

～性に関する指導を通した命の教育～

霧島市立隼人中学校

養護教諭 常山 由紀子

1 はじめに

本校区は国分平野の西部に位置し、北に霧島連峰、南に雄大な桜島を仰ぎ見ることができ、隼人塚をはじめとして鹿児島神宮などの多くの史跡が残るとともに、古来より多くの神話や物語の舞台となった歴史と由緒ある地域である。また、商業施設が多いため人口が増加傾向にあり、本校は、生徒数 814 人、職員数 63 人が在籍する大規模校である。

2 研究主題設定の理由

(1) 学校教育目標から

学校教育目標を「ふるさと隼人を愛し、ふるさと隼人に貢献できる生徒の育成」と掲げるとともに、人権同和教育の充実を根幹に据え、存在感・所属感を感じさせ、豊かな人間関係を基にした自尊感情（セルフエスティーム）を育む教育活動を推進している。

(2) 生徒の実態から

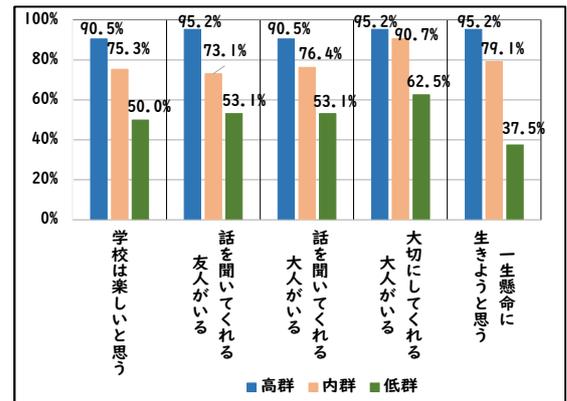
ア 保健室の来室状況

本校は、睡眠不足や朝食欠食などによる体調不良が原因で、保健室の来室者が多い状況にある。令和 4 年度の来室者数 3,657 人のうち 425 人（11.6%）が、心身の健康、友人関係、学力、家族関係などの悩みを抱えて来室している。

イ 自尊感情得点と人との関係

Rosenberg の自尊感情尺度を活用し、自尊感情得点を出した。その結果を、標準偏差より高い群（高群）、標準偏差内の群（内群）、標準偏差より低い群（低群）の 3 群に分け、学校生活や他者との関わりについて分析した。分析の結果（資料 1）、高群、内群の方が、低群に比べて、

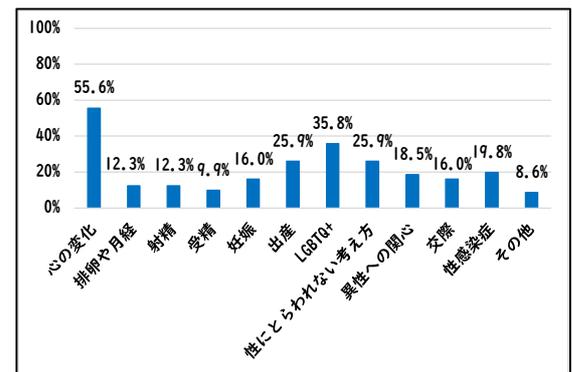
他者との関わりが良好だと感じている結果であった。



資料 1 自尊感情得点と学校生活や他者との関係

ウ 性に関する認識

性に関するアンケート結果から、心の変化や LGBTQ+ について興味や関心が高く、生殖器の仕組みなどへの興味や関心は低い（資料 2）。20% の生徒は相談相手がいなくても明らかになった。



資料 2 性に関することについて知りたいことや聞きたいこと

このような生徒の実態等を踏まえ、自他の命について考えを深める性に関する教育の推進によって、自分だけでなく、他者を大切にしようとする心を育むことができるのではないかと考え、本研究主題を設定した。

3 具体的な取組

(1) 第 1 学年 保健体育科（保健の学習）

思春期の体の変化や月経や射精の仕組みについて理解させ、習得した知識から、自分と他者との違いを肯定的に受けとめながら尊重し合い、適切な対応について考えることができるような授業づくりに努めた。

ア 工夫1～考えを焦点化するための取組～

調べ学習に当たっては、共有フォルダへ生殖器に関する情報を入れ、個々の実態に応じて活用できるようにした(写真1)。



写真1 調べ学習の様子

イ 工夫2～考えを焦点化するための取組～

調べ学習では、学習の意図を明確にするための視点を示した(写真2・3)。



【視点】・似ているところ・異なるところ

写真2 保健の学習①の板書

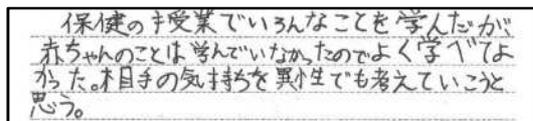


【視点】・分かったこと・気付いたこと

写真3 保健の学習②の板書

(2) いのちの出前授業(特別活動)

保健の学習の横断的な学習の観点から、県助産師会の助産師による性に関する指導『いのちの出前授業』を2年生から1年生への実施に変更した。保健の学習後に本授業を設定することで、性に関する調査結果や保健の学習での感想を講師と共有し、本授業の指導内容の打合せを密に行うことができた。



資料3 生徒の感想

(3) 保健室来室者への対応(個別指導)

個々の存在感を価値付け、自尊感情が育まれるよう、過去の行動面について焦点化

するのではなく、「何が・どうしたらできるのか」「何を・どのようにしたらよいのか」という、今後の行動面について対話することを意識し、生徒が前向きな考えから自分の気持ちを伝えられるようにした。

(4) 学校保健委員会

第1回学校保健委員会において、学校で実施している命の教育について啓発した。

指導内容や生徒の感想を紹介し、保護者と学校が連携を図った(写真4)。



写真4 第1回学校保健委員会

実施後の保護者の意見から、第2回学校保健委員会では、親から子に伝える性に関する研修をしたいという意見があり、意識の高揚につながった。

4 取組の成果と課題

(1) 成果

性に関する指導を通して、生徒は、自分の身体の成長を理解し、命の大切さを実感することができた。その結果、自分を大切に、友達を大切に、そして、家族に感謝する気持ちを高めることができた。

(2) 課題

性に関する知識や意識は、生徒によって差が大きい。そこで、教育課程編成時に生徒の実態や学校保健の動向を踏まえた性に関する指導の指導計画の作成・見直しが必要である。

5 終わりに

性に関する学習を通して、生徒が心身の健康に気付くだけでなく、自分の命の大切さ、周りの人への感謝や関わりについて、振り返ったり、前向きに考えたりしていることを実感できた。今後も、全職員で生徒の心身の健康の支えとなり、生徒が自他を大切にしながら、生き生きと過ごしていける自尊感情を育む教育に取り組んでいきたい。